

希望あふれる新年に

鳥羽市長 木田久主一



新年明けましておめでとうございます。市民のみなさまにおかれましては、輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

本年は、バリアフリーでより快適となったスマートな高速船が、春風と共に鳥羽湾を走り出します。その鳥羽湾を望む陸上においては、マリントウン21事業の記念すべき最初の施設となります。ターミナルビルの建設が本格的に始まります。また、長年の夢でありました鳥羽小学校も、12月ごろには快適かつユニークな建物として完成する予定です。

昨年度に導入しました入湯税収入も順調に推移しており、その有効活用により、観光客のみなさまには訪れて喜んでいただける、そして市民のみなさまにも楽しんでいただけるまちづくりを進めていきます。

南鳥羽地域では、旧パールロードインターから相差町へ至る道路が、用地買収も含め本格的な拡幅作業に入ります。市民にとって大切な施設である鳥羽警察署の移転新築も松尾町地内に決定しました。さらに、就学前乳幼児の医療費の無料化や夜間診療の開始、また市民が利用しやすいバス運行など、市民の立場に立った行政を進めていきます。

一方、市役所におきましては、集中改革プランに沿って行財政改革をしっかりと進めていくとともに、市民のみなさまへのサービスを常に意識しながら働ける環境づくりを構築していきます。

終わりに、本年が市民のみなさまにとって、希望に満ちた幸多き一年となりますようお祈りいたしまして年頭のごあいさつといたします。

地に足つけて

鳥羽市議会議長 野村保夫



新年明けましておめでとうございます。みなさまには、輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は社会保険庁の年金問題に始まり、食品偽装問題など市民生活に直結した問題が多く、また、環境面では最高気温が74年ぶりに更新され、地球温暖化を世界レベルで考えていかなくはと実感した一年でした。

さて、日本の景気は回復傾向にあると言われていますが、景気回復は大都市に偏っており、とりわけ過疎、少子高齢化が進行するこの地域にとっては、依然として厳しい行財政運営を強いられることとなります。こういった状況の中、産業の振興、教育文化、防災対策や環境問題など、今後のまちづくりに欠かせない重要な課題が山積しています。

しかし、「家貧しくして孝子顕れる」のことわざのとおり、苦しいときこそ孝行息子が現れ良い知恵が出てくるものと思えます。幸いにしてわが市では、市内各地で市民参加によるさまざまなまちづくり活動が行われてきています。このような小さな一つひとつの活動が、やがて波になり大きなうねりになって活気あるまちが出来上がり、今後このうねりがもつともっと広がれば「豊かな自然と歴史に育まれた活力のある鳥羽」が実現できるものと確信しています。

市議会といたしましても、このような活動や課題に対し市民のみなさまのご意見、ご要望を拝聴しながら明るいまちづくりに反映できるよう取り組む所存ですので、今後一層のみなさまのご支援ご協力をお願いいたしまして年頭のごあいさつとさせていただきます。

謹賀新年

